

当社は、毎年1回、取締役会の実効性について自己評価を実施し、その内容について取締役会において分析・評価を行っております。

2025年度取締役会における分析・評価は以下の通りです。

| | |
|---------|--|
| 評価期間・対象 | 2025年4月～2026年3月までに開催された取締役会 |
| 回答者 | 取締役及び監査役全員 |
| 設問 | <ul style="list-style-type: none">・採点項目12問※低評価項目への意見記述含む (取締役会の監視・監督機能、取締役会構成、社外取締役の役割・責務、取締役会支援体制など)・自由意見記述 |
| 評価 | 実効性確保のための取組状況及び自己評価を分析した結果、2025年度における取締役会全体の実効性は確保されているものと評価しております。 |
| 主な意見 | <ul style="list-style-type: none">・ 事業戦略に関する議論について 取締役会の議論は年々活性化している。企業価値向上の観点から、中長期的な事業戦略等について議論をより深めていくべきである。・ 取締役会の監視・監督機能について 取締役会における業務執行と経営監督のバランスを見直し、更なる監視・監督機能の強化を図るべきである。・ 社外役員への情報共有について 取締役会議案の社外役員に対する事前説明は適切に行われているが、業務執行側における審議内容について、情報共有をより一層充実させるべきである。 |